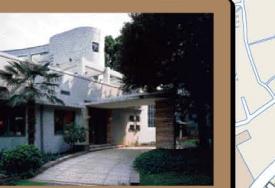
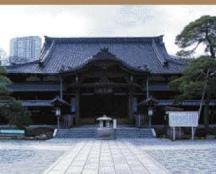


⑨原美術館



閑静な住宅街にある、現代美術の専門館。建物は1938年に邸宅として建造されたもので、昭和初期の建築史を探る上からも貴重な存在といわれる。休館:月曜日(祝日の場合は翌日休)、展示替え期間、年末年始

⑧泉岳寺



曹洞宗江戸三ヶ寺のひとつである。赤穂藩主・浅野長矩と大石良雄をはじめとする義士の墓(国史跡)でも知られ、寺内に義士館、大石良雄銅像などがある。慶長17年(1612)、江戸城近くに創建されたが、寛永の大火によって焼失、浅野家ほか、五大名の協力で現在地に移された。浅野家との縁はこのときが始まる。寺には諸国の修行僧が集まり、禪の修行をしたと伝えられている。

⑬海雲寺(千躰荒神)



建長3年(1251)創建された。火と水と神、台所の防火の神として親しまれ、「品川の荒神様」として有名な千躰荒神が祀られている。毎年3月と11月の27・28日は千躰荒神祭があり、多くの露店と参拝者でにぎわう。参拝者は荒神さまを祀った小さなお宮を風呂敷に包み、首にかけて参拝し、帰りは寄り道したり振り返ったりせず、家に持ち帰らなければならないとされていた。

大崎駅



○美術館



大崎病院



東京ハートセンター

原美術館⑨



御殿山ガーデン



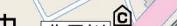
山手線



第三北品川病院



品川女子学院高・中



品川小



城南中



北品川



踏切



北品川



踏切



問答河岸跡の碑



土蔵



品川浦



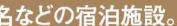
法禅寺



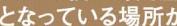
養願寺



正徳寺



天神湯



一心寺



品川宿本陣跡



⑫

12品川宿本陣跡

本陣は大名などの宿泊施設。本陣の主人は鶴岡市郎右衛門だったが、後に島山金右衛門になった。現在、聖跡公園となっている場所が品川本陣跡である。品川宿には本陣が1箇所、脇本陣が2ヶ所置かれていたという。聖跡公園は昭和13年(1938)につくられた公園だが、聖跡の名は明治元年(1868)、明治天皇が東京に行幸の際、この本陣で宿泊されたことが由来となっている。



11御殿山下台場跡

嘉永6年(1853)、ペリー艦隊来航を契機に、幕府は品川沖に11ヶ所の台場(砲台)を造る計画を立てた。しかし、翌年の安政元年(1854)に第1~第3台場、御殿山下台場が完成したところで工事は中止となった。現在、台場小学校があるあたりが御殿山下台場跡であり、計画された台場のうちで唯一の陸続きであった。校庭に、台場の石垣の石でできた碑が建てられている。

